

第5回吉見町立学校適正規模等検討委員会会議録（要点筆記）

会議の名称	第5回吉見町立学校適正規模等検討委員会
開催日時	令和3年11月24日（水）午後6時30分から午後8時30分まで
開催場所	吉見町役場 3階 大会議室
出席委員	久保田秀至委員長、小池幸副委員長、杉田しのぶ委員、樋口肇委員 静政之委員、村田浩委員、新井和利委員、塩原憲孝委員、内田哲雄委員 鈴木恭代委員、金澤美智子委員、木田諭史委員、峯田真奈美委員 田村はるみ委員
欠席委員	
事務局	教育長：大澤幸正、教育総務課長：矢嶋久雄、同課長補佐：西村敦 教育総務係長：柴宗樹、学校教育係長兼指導主事：木伏佑輔 同係長兼指導主事：柳澤拓也
協議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 委員長あいさつ</li> <li>3. 前回会議録の承認</li> <li>4. 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校の適正規模・適正配置の検討について</li> <li>(2) その他</li> </ol> </li> <li>5. その他</li> <li>6. 閉会</li> </ol>
配付資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第4回吉見町立学校適正規模等検討委員会会議録</li> <li>(2) グループ討議の結果（第1回） 【資料1】</li> <li>(3) 児童数の将来推移 【資料2】</li> <li>(4) 小学校再編統合事例(案)における児童数、学級数及び教職員数 【資料3】</li> <li>(5) 小学校の保有教室 【資料4】</li> <li>(6) 小中連携、小中一貫、小中一貫教育制度の関係 【資料5】</li> <li>(7) 小中一貫教育について 【資料6】</li> <li>(8) 吉見町立小学校における現在の通学状況 【資料7】</li> <li>(9) 統合に伴うスクールバス導入に伴う課題への対応 【資料8】</li> <li>(10) 『吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書』説明会開催について（ご案内）</li> </ol>

司会(事務局)	<p>1. 開会 (午後6時30分)</p>
委員長	<p>2. 委員長あいさつ 久保田委員長よりあいさつがされた。</p>
事務局	<p>3. 前回会議録の承認 前回(第4回)会議録については、事前に配付してございます。委員さんからの指摘はありませんでしたので、承認されたものとみなします。</p>
司 会	<p>4. 議事 進行については、本検討委員会設置要綱に基づき、久保田委員長に議長をお願いいたします。</p>
議 長	<p>それでは、しばらくの間、議事を進行させていただきます。委員皆様の御協力をお願いいたします。</p> <p>次第の4番目 議事の(1)学校の適正規模・適正配置の検討について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>＜事務局説明＞ <u>議事(1)学校の適正規模・適正配置の検討について</u> 1 資料の確認…【資料1】～【資料8】 2 資料説明及び検討の進め方 (1) 「検討1 小学校数をいくつにするか」、「検討2 どこに配置するか」について、前回の検討結果の報告及び補足説明。  ・グループ討議の結果(第1回)について…【資料1】 前回、第4回会議では、委員の皆様にごA班、B班に分かれていただき、グループ討議を行っていただきました。本資料は、その場でも出されました意見等をまとめたものになります。その内容ですが、まず、「検討1・小学校数はいくつにするのか」の検討につきましては、多くの委員さんより「最終的に、小学校数は1校とするのがいいのではないか」との意見をいただいたところです。ただし、その過程において、「1度、2校に統合し、その後、1校にする」意見と「最初から1校で統合する」などの意見が出されました。</p>

次に、「検討2・統合し、どこに配置するのか」の検討につきましては、「中学校あるいは中学校付近」との意見が多くあったものの、「小中一貫校実施」や「校舎及び体育館等の付帯施設を建設する用地の確保」など、条件によるとの意見がありました。

「その他」の意見としましては、「クラス替えができる方がよい」、「スクールバスについて」等について、意見がありました。

#### ・児童数の将来推移…【資料2】

本資料につきましては、町内の小学校を3校ずつ統合した場合の児童数の推移について想定したものです。まず、パターン①では、東一小・東二小・南小での統合と、西小・西が丘小・北小での統合とし、町内で2校になった場合を想定しています。仮に、現時点で統合したとしても、令和9年度までにはどちらの学校でも単学級となる学年が発生しております。これは、保護者アンケートやあり方研究協議会からの提言で望まれた、「複数学級」を満たさないものとなってしまいます。

また、2ページでは、パターン②として、東一小・東二小・北小での統合と、西小・西が丘小・南小で統合したケースを想定しておりますが、1校では令和5年度に単学級が発生し、令和9年度には3分の2の学年で単学級が発生しており、パターン①同様、「複数学級」を満たさないとの想定結果となりました。

3ページ以降は、第1回会議で「参考資料」として配布いたしました、「児童・生徒数の推移と今後の見込みについて」と同じものです。

#### ・小学校再編統合事例(案)における児童数、学級数及び教職員数…【資料3】

本資料は、仮に現在の小学校を統合した場合、学級数がいくつになるのか。また、6年後の令和9年には学級数がいくつになるのかを示したものになります。

現在の児童数では、3学級及び4学級の編成となります。特別支援学級は、知的障害、自閉症・情緒障害など児童の特性に合わせた編成となることから4学級となり、合計で25学級となります。

これが、2ページ目の令和9年度には、1年で2学級、それ以外は、全て3学級となり、特別支援学級は、人数は出ませんが、現在と同じ4学級と想定し、合計21学級になると想定しています。

#### ・小学校の保有教室…【資料4】

この表は、現在、小学校6校で実際に使われている普通教室及び特別教室になります。普通教室は、普通学級と特別支援学級を合わせたものになります。

表の左に、普通教室とあり、そこから右は、理科室、音楽室等の特別教室がありますが、これらの教室は基本、普通学級として利用はできません。ただし、(普)と記載された教室については、普通教室として利用が可能となっております。例として、一番教室数の多い西小学校を見ると、現在の8教室に7教室が加わり、最大で15教室が普通教室として利用可能となりますが、ここで、先ほどの【資料3】にありました、令和9年度に想定される学級数の21学級に照らし合わせますと、令和9年度においても、1校に統合した場合、現在の西小学校の教室数では、児童が収まり切れないことが示されています。

(2) 前回検討委員会の資料1にあった「その他留意事項」にある、「小・中一貫教育の導入」、「徒歩通学距離の目安」、「スクールバスの検討」について検討。

・小中連携、小中一貫、小中一貫教育制度の関係…【資料5】

小中一貫教育につきましては、前々回、第3回検討委員会の資料3、「小中一貫教育が求められる背景や理由」の中で、小中一貫教育のメリットとして、中学1年時における不登校の要因の一つとなっている、いわゆる「中1ギャップ」の解消や、外国語学習をはじめとする小学校における教育の充実などが挙げられています。町が、小学校の統合再編に併せて「小中一貫教育」を取り入れるとした場合、どのような選択肢があるかを示したのが「資料5」となります。

・小中一貫教育について…【資料6】

資料の5ページの表は、全国における「義務教育学校」と「小中一貫型小・中学校」の数で、平成29年度末における数字となっています。「義務教育学校」は全国で48校、「小中一貫型小・中学校」は253校と、どちらも全国的に見れば、まだまだ設置校は少ないものとなっております。

「小中一貫教育の成果と課題、平成26年度調査との比較」とありますが、文部科学省では、平成26年と29年に、全国で小中一貫教育を実施した市区町村に対し、「小中一貫教育へ移行したことによる成果と課題」について調査を行いました。

ここでは、小中一貫教育に移行したことによる成果が数字で示さ

れており、特に成果が高かったものとして、「中学校への進学に不安を覚える児童が減少した」や、「いわゆる『中1ギャップ』が緩和された」などが高い数値を示しています。更に、多くの回答結果が、平成26年調査時より平成29年調査の方が「成果がある」と回答しています。

また、「課題」も示されていますが、「成果」とは逆に、前回調査に比べ、課題が減っている結果となっています。

・吉見町立小学校における現在の通学状況…【資料7】

本資料は、現在の小学校児童の通学距離を表したもので、「1. 通学距離別集計表」は、通学班別に、集合場所から学校までの距離を集計しています。調査では、集合場所から3km以上の徒歩通学はありませんでした。

「2. 学校別の最長通学距離」は、児童の自宅からの最長距離を表しており、最長は西小学校の3.3kmでした。この調査結果につきましては、今後、スクールバスを導入する際の資料として活用したいと考えております。

・統合に伴うスクールバス導入に伴う課題への対応…【資料8】

本資料につきましては、参考資料としてご活用ください。

### 3 本日の会議の進行について

・前回同様「A」、「B」と記載されたとおりに、A班B班に分かれ、意見交換してもらおう。

・各班で、「検討1」「検討2」について「方向性」を出していただき、12月の検討委員会（全体）で諮る。

・今回も時間で打ち切る。（80分程度）

・座長 A班：久保田委員長 B班：小池副委員長

・書記 A班：木伏指導主事 B班：柳澤指導主事

※書記は班内でまとめた「方向性」を発表する。

・質疑対応 A班：西村補佐 B班：矢嶋課長

・連絡担当：柴係長（時間管理）

議 長

ただいま、学校の適正規模・適正配置の検討について、説明がありました。このことにつきまして、ご質問等はございますか。

（質疑なし）

議 長	<p>ご質問がないようですので、学校の適正規模・適正配置の検討については、事務局の説明のとおりとすることによろしいでしょうか。</p> <p>(はい、と言う声あり)</p>
議 長	<p>それでは、今後の検討の進め方については、事務局から説明のありましたとおり、前回と同様にA班、B班に分かれて意見交換をしていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>≪A班は大会議室、B班は小会議室①へ移動≫</p> <p>=====</p> <p style="text-align: center;"><b>&lt; A 班 &gt;</b></p>
事務局	<p>この会議を進行いたします「座長」につきましては、久保田委員長にお願いします。</p>
A班座長 (委員長)	<p>それでは、しばらくの間、座長を務めさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>今回は委員さんを入れ替えてとなりますが、検討していただく事項につきましては、前回から引き続き、「検討1」及び「検討2」について議論していただき、班として方向性をまとめたいと考えておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、「検討1・小学校数をいくつにするか」でございますが、前回のグループ討議では「資料1」にもありましたとおり、最終的に1校にするとの意見が多くございましたので、これを踏まえ、各委員さんよりご意見をいただきたいと存じます。</p>
A班委員	<p>≪検討1・小学校の児童数、学級数から学校数はいくつにするか≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケート等踏まえれば、2学級以上となるよう、まず3校ずつで統合し2校とし、その後、1校に統合するというビジョンを保護者に対し示すことも1つの方法と思う。</li> <li>・住民の感情を考えると、川島町と同じように、新しい学校名を付け、校章、校歌も新しくしてという選択肢もあるだろうが、最終的に1校に至るまでには、相当の時間と労力が必要になるのは明らかである。</li> <li>・地域に根付いた学校がなくなるという事で、その地域の方々の感情はどうなのかと思う。それであれば、新たな1校で一気に統合した方がいいこともあると思う。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理の面で言えば、1校がいいのは明らかだが、保護者の理解が得られるかどうか。保育所と同様に1校にして、校舎も一気に新しくする方が保護者や町民皆さんの理解は得られやすいと思う。</li> <li>・3校の統合では、令和7年には単学級となる学年が出てくるが、1学級の人数を30人以下にすれば解消されるのではないか。</li> <li>・資料2「児童数の将来推移」では、現在の未満児がそのままシフトしているが、実際には入学時にはもっと増えると思う。</li> <li>・東二小を例にすると、少人数のメリットもあると思うが、人数が多い方のメリットが大きいのかなと思う。</li> <li>・東二小を視察し、現状を目の当たりにすると、あまり時間をかけずに解消できた方がいいと思う。</li> <li>・資料3「小学校の保有教室」では、西小以外は全学年が2学級以上だと収まらない。そうなる段階的な統合再編はどうかかなと思う。</li> <li>・現状、小学校校舎はかなりの建築年数経っており、普通教室が増えるとなれば、大規模なリフォームあるいは増築も必要になるかもしれない。</li> </ul>
<p>A班座長 (委員長)</p>	<p>ここまでの意見をまとめますと、A班としては、「<b>小学校は最終的に1校とする</b>」ことを方向性としていたと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>(はい、と言う声あり)</p>
<p>A班座長 (委員長)</p>	<p>ありがとうございます。 続きまして、</p> <p><b>〈検討2・統合し、どこに配置するのか〉</b></p>
<p>A班委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の付近に新たな小学校を造るとして、体育館やプールは小学校専用のものであるし、グラウンドも小・中で共用は、危険も伴うため難しいと思う。それだけの敷地も足りないと思う。</li> <li>・フレサよしみ付近であれば、確保できる敷地は広く確保できると思う。ただし、ハザードマップで水害のある区域に指定されている。</li> <li>・私自身も経験があるが、広い敷地を確保することはとても難しいことで、全ての用地を新たに取得となると更に難しい。既に町が所有する土地を利用できればいいとは思う。</li> <li>・フレサよしみ付近は、町の中心部になりえる場所と思う。しかし、ハザードマップ上で浸水区域になっていることを考えると、西地区も検討の余地はあると思う。</li> </ul>

<p>A班座長 (委員長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西地区に新設だと、小中連携という点では離れている気がする。</li> <li>・フレサよしみ付近は、図書館などの施設が集中しているので、魅力はあると思う。</li> <li>・フレサよしみに近ければ、ふれあい広場も使え、広い駐車場もあり、いいと思う。</li> <li>・ふれあい広場やB&amp;Gプールが小学校の専用として利用できるのかは疑問である。</li> <li>・ハザードマップの浸水区域に新たに設置となれば、相応の理由が必要になると思われる。</li> <li>・やはり浸水区域に建設するのであれば、子どもたちの安全確保という点で水害対策や地震対策は必要だと思う。</li> <li>・どこに設置するにしても、子どもたちの安全対策に十分配慮するよう委員会として、教育委員会に要望していきたい。</li> </ul> <p>意見をまとめますと、A班としては、フレサよしみや吉見中などを含めた「吉見町の中央付近に新たな校舎を建設する」ことを方向性とし、併せて、子どもたちの安全対策に十分配慮することを要望することとしたいと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(はい、と言う声あり)</p>
<p>A班座長 (委員長)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員の皆様のご協力により、「検討1・小学校数をいくつにするか」、「検討2・どこに配置するか」について、方向性をまとめていただきました。</p> <p>それでは、「いつの開校を目指すのか」についても、この場で、ご検討をいただければと考えております。</p> <p>詳細につきましては、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>本検討委員会より答申が出され、町は、それを受ける形で令和4年度から手続きを進める予定です。具体的には、計画の策定、住民への説明会等の後、基本構想、設計、工事等が進められ、新校の開校までに概ね5年は要するのではないかと想定しております。また、土地の造成等がある場合、更に期間が上乘せされることとなります。</p>
<p>A班座長</p>	<p>〈検討3・いつの開校を目指すのか〉</p> <p>ただ今、事務局より説明がございました。各委員さんよりご意見</p>



A班委員	<p>をいただきたいと存じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例えばフレサよしみの駐車場を利用することができれば、造成等に時間をかけずに新たな校舎を造ることは可能だと思う。その場合、現在の田んぼを駐車場にすれば駐車場が不足することもないのではないかと思う。</li> <li>・場所が決まったとしても、建築確認やその他手続き、議会对策などそれ相応の時間はかかると思う。</li> </ul>
A班座長 (委員長)	<p>それでは、A班としては、「5年後の開校を目標に、できるだけ早く進める」ことを方向性とするこことしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;"><b>(はい、と言う声あり)</b></p>
A班座長 (委員長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、「検討1」、「検討2」さらに「いつの開校を目指すのか」についてご検討いただきました。</p> <p>続きまして、会議の冒頭に事務局から説明のありました、「その他留意事項」についてですが、まず、「小・中一貫教育の導入」について、本日、配布されました「資料5」などを参考に、各委員さんよりご意見をいただきたいと存じます。</p> <p>なお、時間の関係もございますので、ここからの検討につきましては、本日は、意見を集約せず、委員の皆様から自由闊達なご意見を頂戴したいと思います。いただいたご意見等につきましては、改めて、12月の検討委員会でまとめたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
A班委員	<p><b>《小・中一貫教育の導入》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布された資料では、全国的に見て義務教育学校が48校と少ないが、何か理由があれば教えてほしい。</li> <li>・義務教育学校は、学校が1つ、校長先生も1人、そして先生は小・中学校両方の教員免許が必要であり、そうした制約があることが要因の1つと考える。</li> <li>・最初から義務教育学校を作るという強い意志がなければ難しいと思う。</li> <li>・吉見町で検討する場合、義務教育学校は難しいので、進めるとす</li> </ul>

	<p>れば小中一貫校で検討することがいいかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吉見町としては、小中一貫教育を進めていくことが、今後、現代的な教育の流れと合致していくことになるのではないか。</li> <li>・小中一貫校とした方が住民の理解も得られるのではないかと思う。</li> </ul> <p>=====</p>
事務局	<p style="text-align: center;"><b>&lt; B 班 &gt;</b></p> <p>この会議を進行いたします「座長」につきましては、小池副委員長にお願いします。</p>
B班座長 (副委員長)	<p>それでは、しばらくの間、座長を務めさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>今回は委員さんを入れ替えてとなりますが、検討していただく事項につきましては、前回から引き続き、「検討1」及び「検討2」について議論していただき、班として方向性をまとめたいと考えておりますので、ご協力のほど、よろしくをお願いいたします。</p>
B班委員	<p><b>《検討1・小学校の児童数、学級数から学校数はいくつにするか》</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数の小学校から中学校へ進むと、最初は、友達が少なく、馴染みにくいということがあると聞いた。</li> <li>・東二小のように5人、6人という少人数から、大きなところへ急に入ると、どうなるかということも検討してほしい。</li> <li>・東二小の人数の少なさを解消する方法があるのか。</li> <li>・小規模校のデメリットを解消する1つの解決策として、東二小と西が丘小では、合同で修学旅行に行くといった取り組みを行っている。</li> <li>・最終的に1校はいいのだが、段階的に進めた方が良いのではないか。いきなり1校にするのではなく、児童の少ない小学校だけ統合してはどうか。</li> <li>・段階的に進めるとして、教室数が足りるのか、また、場所はどうするのかという問題は難しいと思う。</li> <li>・段階的に行った場合、最終的に1つにするための時間が、より多くかかってしまうと思う。</li> <li>・2つあるいは、3つの学校をただくっつければいいということではすまない。例えば、川島町の小学校は4つの学校を2つにして、学校名を変え、校歌も全部作り直した。</li> <li>・保護者の方や学校の先生方、また役場の職員も段階的にやった場合、第一段階でエネルギーを使ってしまうと、すぐに次の段階に進</li> </ul>

<p>B班座長 (副委員長)</p>	<p>めるのかという疑問はある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2を見ると、3校で統合しても、令和9年には単学級が発生してしまうことを考えると、できるだけ早く1校にするのであれば、段階的に進めるよりも、1回ですべての学校が統合した方が最短かと思う。</li> </ul> <p>ここまでの意見をまとめますと、B班としては、「<b>令和9年度を目途に、1段階で統合する</b>」ことを方向性としていたと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>(はい、と言う声あり)</p>
<p>B班座長 (副委員長)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、</p> <p>《<b>検討2・統合し、どこに配置するのか</b>》</p>
<p>B班委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の敷地に新たに建設するだけのスペースはあるのか。</li> <li>・吉見中はグラウンドも広く、有効なスペースはあると思う。また、今後、部活の減少により、更に使えるスペースは増えるのではないかな。</li> <li>・1校に統合した場合、既存の小学校では、一番大きい西小でも教室が足りないことを考えると、増築するか、新たに校舎を作るかのどちらかになってしまう。</li> <li>・普通教室が3学級×6学年の18学級だと、理科室や音楽室等の特別教室のほか、準備室等も含めると、今の倍の数が必要となるので、増築では追いつかないかもしれない。</li> <li>・フレサよしみの一角に建設すれば、既存の体育館や保育所、図書館も新しくなり、連携も取りやすいと思う。しかし、ある程度早く完成させるのであれば、土地の選定や地権者からの購入等に時間がかかるのはどうかと思う。ハザードマップの問題もある。</li> <li>・ハザードマップの問題はあるだろうが、土台を高くすればいいのではないかな。</li> <li>・新たに校舎を建設するか、今の校舎を取り壊して改築という事と言うと、改築の方が費用は抑えられるかもしれない。</li> <li>・統合するのであれば、吉見町の中心付近は外せないと思う。</li> </ul>
<p>B班座長 (副委員長)</p>	<p>意見をまとめますと、B班としては、「<b>吉見中学校を含むフレサよしみ近辺</b>」とすることを方向性としていたと考えますが、いかがでしょうか。</p>

	<p>(はい、と言う声あり)</p>
B班座長 (副委員長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員の皆様のご協力により、「検討1・小学校数をいくつにするか」、「検討2・どこに配置するか」について、方向性をまとめていただきました。</p> <p>それでは、「いつの開校を目指すのか」についても、この場で、ご検討をいただければと考えております。</p>
B班委員	<p>《検討3・いつの開校を目指すのか》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレサよしみの近くに建設するとなれば、都市計画法に関する手続きだけで1年半はかかる。工事に入るまでに最低2年、また、工事にかかる期間が3年はかかることを考えると、開校までに最低5年はかかると見ていいだろう。</li> <li>・他の市町村の答申などを見ると、複数の統合をスケジュールで出している自治体もあれば、できるだけ早くという言葉を出している自治体もある。</li> <li>・どこに建設するかによって期間は大きく変わるので、できるだけ早くとしか言えないのではないかと思う。</li> <li>・町が既に持っている土地に建設するのであれば、大きく時間を短縮することは可能。</li> </ul>
B班座長 (副委員長)	<p>それでは、B班としては、「できるだけ早く開校を目指す」ことを方向性とするここととしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(はい、と言う声あり)</p>
B班座長 (副委員長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、「検討1」、「検討2」さらに「いつの開校を目指すのか」についてご検討いただきました。</p>
B班委員	<p>《小・中一貫教育の導入》</p> <p>続きまして、会議の冒頭に事務局から説明のありました、「その他留意事項」についてですが、まず、「小・中一貫教育の導入」について、各委員さんよりご意見をいただきたいと存じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫校は別の敷地でもいいのか。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一敷地にある「施設一体型」のほかに、敷地が別でも「施設隣接型」、「施設分離型」がある。</li> <li>・小学校が統合し、小学校1校、中学校1校となれば、小中一貫教育を取り入れることが、必然の流れになると思う。</li> <li>・町でも「小中連携」は行っているが、その教育課程は小学校によりバラバラなので、小学校が1つになれば統一され、無駄がなくなる。</li> <li>・今は、小中9年間の中で、重複する授業もあるかもしれないが、一貫校であれば、一定のプログラムで教育課程が進められるため、無駄がなくなる。</li> </ul>
B班座長 (副委員長)	<p>《徒歩通学距離の目安》</p> <p>続きまして、「徒歩通学距離の目安」について、「資料7」を参考に、各委員さんよりご意見をいただきたいと存じます。</p>
B班委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバスで通学だと体力面で心配だが、かといって、何キロ歩かせたいという事もない。</li> <li>・資料7では、現在の通学距離の状況が出ているが、ほぼ3キロ未満の通学距離であり、この辺が今後の検討の基準になると思う。</li> <li>・バスの運行本数や児童の搭乗計画など細かい部分は、本委員会での検討は難しいので、後々、専門委員会を立ち上げることが必要と考える。</li> </ul>
B班座長 (副委員長)	<p>《スクールバスの検討》</p> <p>続きまして、「スクールバスの検討」について、「資料8」を参考に、各委員さんよりご意見をいただきたいと存じます。</p>
B班委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉見町の中央付近に新校建設となると、町内の多くの地区でスクールバスを運行することになる。</li> <li>・バスの運行方法については、車両・運転手共に委託する方法と、車両は補助金を活用して購入し、運転手のみ委託する方法などがある。</li> <li>・バスの運行方法は、多様であり、例えば、停留所を設けるかどうか、仮に設けたとして、そこまでは班で来るのか、あるいは保護者を伴って来るのかなど他の市町村の運行方法が参考になると思う。</li> <li>・スクールバスに関しては、答申の中で、「スクールバスの運行に関してはこうしてほしい」といった形にしている市町村が多いと思う。</li> </ul>

<p>A班・B班共通</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯パトロールの見地からすると、スクールバスになっても、集合してから停留所まで行くとなれば、今後も見守りは必要ということになる。できれば、各班で集まったところで乗せてもらいたい。</li> <li>・スクールバスの運行は、歩道整備などの改良も必要になると思う。</li> <li>・他の市町村の答申では、スクールバスの運行に関しては、時間と距離そして安全性を十分に配慮して検討を進めてほしいという例もあった。</li> </ul> <p>≪その他の意見≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校を新設する場合、どれだけの面積が必要ですか。</li> <li>・吉見町含め、近隣の学校の敷地は広いと思います。これが、県南の市街地などでは、土地は確保できないかもしれませんが、国の基準で校舎内の面積は定められているため、階数を増やすことで対応しています。</li> <li>・敷地を有効活用するため、校舎の屋上にプールを設置している学校もある。</li> <li>・12月に実施予定の「あり方研究協議会調査研究報告書」説明会で保護者から出された意見を、検討委員会に反映させてほしい。</li> <li>・例えば、東二小の保護者から、現状を解消するため、とりあえず東一小と統合させてほしいなどの意見への対応も用意しておく必要はあると思う。</li> <li>・水害対策で、体育館を2階建てにするのはどうでしょうか。</li> <li>・体育館やプール等の配置は、工夫により面積も抑えられる。例えば、1階にプール、2階に体育館など。</li> <li>・上尾市にある小学校では屋上にプールがある。</li> </ul> <p>=====</p>
<p>議 長</p>	<p>≪A班・B班は最初の席へ移動≫</p> <p>委員の皆様ご苦労様でした。それでは、各班の発表について、担当よりお願いいたします。</p>
<p>A班書記</p>	<p>≪A班 方向性発表≫</p>
<p>B班書記</p>	<p>≪B班 方向性発表≫</p>
<p>議 長</p>	<p>ただいま、学校の適正規模・適正配置について、各班の発表が終わりました。このことについて、何か御質問等はございますか。</p>

委員	<p>12月10日、11日、12日の3日間、「吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書」の説明会を開催することですが、保護者からの意見等があった場合は、今後の検討に生かしてほしい。</p>
事務局	<p>説明会は、本年3月に作成しました「吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書」について、その概要版を用いまして、アンケート調査結果のほか、町の児童生徒数の推移及び学校の適正規模への提言などのご報告をさせていただきます。そこでいただいた、ご意見等は、次回の検討委員会で報告できるものと考えております。</p>
議長	<p>他にご質問等はございますか。</p> <p>(特になし)</p>
議長	<p>それでは、本日の検討委員会によりまして、答申の骨子となる部分につきましては固まったものと考えております。</p> <p>次回、12月の会議では、できるだけ最終の答申案に近づける形で、会議を進められればと考えております。</p>
議長	<p>次に、議事(2)その他でございますが、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>《次回会議の日程について》</p> <p>次回、第6回吉見町立学校適正規模等検討委員会 令和3年12月22日(水)午後2時00分 図書交流館 会議室</p>
議長	<p>ただいま、次回日程について、事務局の説明が終わりました。このことについて、何か御質問等はございますか。</p> <p>(特になし)</p>
議長	<p>議事は以上ですが、全体を通し何かございますか。</p> <p>(特になし)</p>
議長	<p>慎重審議ありがとうございました。これで、すべての議事が終了しましたので議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>

<p>司 会</p> <p>事務局</p> <p>副委員長</p>	<p>ございました。</p> <p>久保田会長には、議長をおつとめいただき、また、委員の皆様には慎重審議いただき、ありがとうございました。</p> <p><b>5. その他</b></p> <p>『吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書』説明会開催について</p> <p><b>6. 閉会</b></p> <p>閉会あいさつ</p>
-----------------------------------	--